

令和元年度男女共同参画審議会(第3回)

- 1 日 時 : 令和2年2月12日(水) 午前10時00分から午前10時50分まで
- 2 場 所 : 生駒市コミュニティセンター 2階206会議室
- 3 出席者 : 藤次会長、立松副会長、内橋委員、小野委員、田中委員
(欠席者 : 竹内委員、緒方委員)
(事務局) 向田人権施策課長、萩本男女共同参画プラザ所長
細川男女共同参画プラザ係員
- 4 議事内容
 - 1 事業案件
 - (1)男女共同参画プラザの令和元年度事業の進捗状況について
 - (2)令和2年度事業計画(案)について
 - 2 その他
- 5 傍聴者 : なし

事務局	<p>【会議の成立報告】</p> <p>本日は、緒方委員、竹内委員が欠席されておられますが、生駒市男女共同参画推進条例施行規則第12条第2項により、過半数の委員の出席があり、成立しておりますことをご報告いたします。</p>
会長	<p>【会長挨拶】</p>
事務局	<p>【会長に議事進行依頼】</p> <p>(生駒市男女共同参画推進条例施行規則第12条第1項)</p>
会長	<p>【会議の公開の確認】</p> <p>【傍聴者の確認】</p>
事務局	<p>傍聴者なしです。</p>
会長	<p>【会議資料の公開と議事録の作成要領の確認】</p> <p>それでは、次第に従いまして会議を進めさせていただきます。 まず、「(1)男女共同参画プラザの令和元年度事業の進捗状況について」の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
会長	<p>ただいま、説明いただきましたが、何かご質問などあればお願いします。</p>

会 長 「こころのケア講座」ですが、2回開催で、1回目と2回目で参加人数に差があるが、支障はなかったのですか。

事務局 申込みは1回目と2回目の講座とも同数くらいでしたが、突然の不参加が相次いでこのような参加人数になりました。少人数でしたが、グループ分けした中に講師の先生も入って一緒に進められて、ワークショップのような形になり、特に支障はありませんでした。

会 長 大丈夫だったということですね。

事務局 2回目に1回目のおさらいのような話もあって、支障なくうまく運営していただいたと思います。

委 員 参加者の中の男女については？

事務局 申込時やアンケートにも性別は書いていただいていませんが、参加されていたのは男性は少なく、2名程度だったと思います。

委 員 内容はどのようなものでしたか。「状況」や「場面」、誰が誰に対して「パワハラ」なのか、のような内容ですか。

事務局 「女性の暴力をなくす運動」の期間に実施した講座で、DVに関する内容でもありました。男性が「加害者」ということではないのですが、男性の参加が少なく、ワークショップでの発言も積極的ではなかったように思います。

委 員 この「よりよい人間関係を目指して」というタイトルで募集したのですか。

事務局 はい。やはり「DV」を前面に出すと、参加者が集まりにくいということがあります。「DV」だけでなく、日常生活におけるいろんな局面、シーンを想定し、その中に「DV」もあり、そこから、よりよい人間関係を築いていくという主旨で募集しました。

委 員 募集が20人で参加がこのようなことなら、違うやり方があったのではと思います。様々なハラスメントへの対応、対処法など、タイトルから判りにくいと思います。そして、このようないい内容であったのならもっと違うアプローチ、表現も考えてもよかったのではないかと思います。いろんな悩みなどを持つ方々、企業などにもアピールできれば参加者も増えるのではないかと思います。

事務局 講座の内容等は中々表現が難しく、タイトルの付け方も参加者を増やすことにつながるように検討をしましたが、「こころのケア」「怒りのコントロール」とともに、参加人員に結びつかなかった。また、参加者からも「思っていた内容とは違っていた」などという声もありましたので、今後さらに検討したいと思います。

会 長 タイトルは確かに難しいです。内容でも、例えば「DV」など、本人が気付いていない「DV」の事象など具体的な類型を示すなど、判りやすくする工夫が必要だと思います。

副会長 「ママがうれしいつくりおきレシピ」では、「調理実習がしたかった」の声がありますが、どうだったのですか。

事務局 講師と十分に打合せができておりませんでした。こちらは、一緒に作る調理実習をと伝えていたのですが、つくりおきレシピのコツや、多くのメニューを短時間で作ることができるということを、講師の先生が料理を作りながらの講義でした。内容と広報についても反省点があります。

委 員 「怒りのコントロール」講座の参加者の年齢層は判りますか。

事務局 年齢は確認していませんが、年配の方が多かった印象です。

委 員 「怒りのコントロール」、「アンガーマネージメント」は注目されておりまして、学校現場でも、児童、生徒だけでなく、保護者や教師に関しても、「怒り」を抑えられないことを、この「アンガーマネージメント」の手法でコントロールして、お互いのコミュニケーションを良好にして信頼関係を構築していくことが必要です。職場、家庭、学校を問わず、虐待、心理的な虐待も含め、その活用は効果的で重要なものとなっていますので、できるだけ若い世代、保護者の世代など、様々な世代の方々にも参加していただきたいですし、是非聞いていただきたい方へのアプローチなど検討していただきたいと思います。

事務局 この分野は今後、力を入れていきたいところでもあり、男女共同参画プラザだけでなく、人権施策課とも協働で様々な取組みを進めていますが、今後は教職員研修等、学校等とも連携してよりよいものにしていけたらと思います。

会 長 他に何かありますか。ないようでしたら、続きまして「(2)令和2年度事業計画（案）について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 (説 明)

会 長 ただいま、説明いただきましたが、何かご質問などあればお願いします。

副会長 「防災講座」は、次年度は「家族でできる」とありますが、どのような内容ですか。

事務局 昨年度、今年度は自治会や自主防災会などを対象に大規模に講座を実施しましたが、各自治会でも防災講座を熱心にされていますので、来年度は家族、家庭においての身近な防災講座を考えています。

委 員 この事業は全て実施するのですか。

事務局 全てではなく、相談員や関係課と協議しながら進めており、予算が決定してから、この資料に挙げた事業から選択して実施する予定です。

委員 事業によって予算は変わるのですか。

事務局 男女共同参画プラザの事業の多くは、講座の講師の謝礼であり、予算の範囲内で進めることとなります。ただ、今回は「地方創生推進交付金事業」があり、庁内の関係課と連動して全庁的に開催するもので、通常の予算とは別枠で確保しています。

委員 認められるのですか。

事務局 特に、国から交付されるものですので、他の事業とは別に確保できるものと考えています。

副会長 「防災講座」の説明で、「男女共同参画の視点」とありますが、これはどういうことですか。

事務局 家族で話し合うことが「男女共同参画の視点」につながり、家庭の中で各自で意識を持って手分けしてする発災時の対処方を考えていただければと思っています。

副会長 コンセプトをしっかり持って、募集の仕方、講座の説明、告知方法など、よく検討して事業を進めてください。

会長 多くの方が参加できるような判りやすいネーミング、タイトルや広報、募集方法を考えて実施してほしい。

委員 私たちは、チラシや、広報などで事業、講座を知ることになるので、やはりネーミングや説明は大事だと思いますので、よく考えてほしい。

事務局 本日、各委員の皆様からのご意見や回数、時期、参加者の要望など勘案して事業や講座の実施を検討します。特に学校との連携は考えていきたいと思っています。

会長 その他に何かありませんか。
無いようでしたら続きまして「2 その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。
ないようでしたら、事務局から何かございますか。

事務局 会議録等につきましては後日郵送させていただいて、ご確認いただきますので、よろしく申し上げます。

会長 それではこれもちまして、終了させていただきます。